

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Sprouts		
○保護者評価実施期間	令和 8 年 1 月 14 日		～ 令和 8 年 2 月 20 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	令和 8 年 1 月 14 日		～ 令和 8 年 1 月 31 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 3 月 14 日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人一人に合った支援。子どもたちが事業所で過ごす時間を「楽しい」と感じられている。	楽しませるため、来所すぐに取り組む内容や、児が苦手とする内容について、トレーニング内容の順序を考慮している。毎月子どもミーティングを行い、児の段階や状況を職員間で情報共有し、そこから必要な玩具を選出している。	支援の質の向上を図るための外部研修などに参加する。 現状に甘んじず、スキルアップを心掛ける。
2	ご家族に寄り添った相談援助。具体的なアドバイスができる。事業所アンケートの支援や相談での内容に100%の満足を得られている。	柔軟な対応。オンラインを活用し、相談時間を確保している。親子来所の際には、児の褒めポイントを伝え、保護者も笑顔になれる関わりを心掛けている。	
3	環境整備への工夫。パーティションを利用した空間づくりに評価があった。	児の段階に合わせた玩具の用意や入れ替え、状況に応じたパーティション活用。	玩具の定期点検が行えるよう、年間や月間、週間の予定組を検討していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	イベント開催や保護者会設立の難しさ。保護者同士の交流が生まれづらい。	法人規模が小さい。 個別でのトレーニングで児の成長の底上げを図っているため、個々の対応がメインとなる。	定期的なグループ相談。 小集団活動としてのイベント開催。 父母の交流を促すイベントなどの開催。
2	療育トレーニング以外の事業所情報(避難訓練、緊急時対応マニュアルなど)が周知されづらい。	SNS等での発信不足。	インスタを利用した発信の強化。
3	療育技術を身につけるまでに要する時間。	高い専門知識と豊富な経験が、利用者一人一人の対応に必要とされている。	経験年数や専門知識保有者優先とした職員採用の検討。